



い き い き

小 富 士 っ 子



R 4 学校便り No. 16

令和4. 1 0. 1 1

四国中央市立
小富士小学校



「実りの秋」。黄金色の稲穂が頭を垂れ、収穫の時期を迎えています。朝夕すっかり涼しくなり、季節の移ろいを感じることができるようになってきました。日中との寒暖差に体調を崩しやすい時期でもあります。体調管理には気を付けたいものですね。延期されていた砂防教室が27日に実施できることになりました。4・5年生対象ですが、しっかり防災について学んでほしいと思います。

こみすく通信

地域の防災の取組についてお話を聞きました

4年生は今、社会科で防災について学習しています。家庭での取組を親に聞いたり、学校の取組を教頭先生に尋ねたり。先日は、小富土地域の取組について公民館でお話を伺いました。恵泉荘自主防災会や根々見自主防災会の方、公民館の方からお話を聞きました。

聞き取りの内容はHPに掲載しましたので、今回は、子どもたちの感想を紹介します。



公民館で話を聞いて、自助、公助、共助という言葉の意味が分かりました。私は、台風とかが来たら、自助で自分を守りつつ共助で近所の人を助けたいと思いました。

公民館にも学校と同じように防災グッズがあることが分かりました。地震が来たときはまず、自助、自分の命は自分で守ることを大切にしたいです。それから共助、隣近所の人と助け合うことをしたいです。

災害が起きたときは自分の命は自分で守ったり、災害に備えて近所の人にあいさつしたりしていきたいと思いました。

公民館に行って、自助・共助・公助の深い意味と周りの人たちのこと知っていることが大切だということが分かりました。

「防災の日」が関東大震災を元に作られたと初めて知りました。「自助」「共助」「公助」ということを大切にしたいと思いました。公民館で話を聞いて、非常食の準備をしていなかったの、しておきたいと思いました。

聞き取りをして、小富土地域の自主防災会が訓練や点検をしていることや公民館が指定避難所だということが分かりました。自分の命や家族の命は自分で守る「自助」や隣近所が助け合う「共助」を私もしたいです。

「共助」で、まず大切なことは、地域のことを知っておくことです。一人暮らしのお年寄りなど、どこにだれが済んでいるのかを知っておくことも大切です。

そのためには、お祭りや地域の行事に積極的に参加したり、学校で地域の人材を活用した授業・行事を行ったりすることが有効だと言われています。